的に理解できる言葉が大事だと思いますが、ご指摘のことも充分踏まえて考えます。

●地域公共交通について

Q　山武市地域公共交通活性化協議会によるその後の進捗状況と今後の取り組みについて。

A　市長　実証実験運行などの具体的な交通計画を策定するために、地域公共交通総合連携計画策定調査事業として、4月22日に国から事業認定を受けたところです。

6月から7月の予定は、コミュニティバス、乗り合いタクシー、コミュニティバスと乗り合いタクシーとの連携型の3つの運行形態別に具体的な導入イメージの作成に向けた協議を行い、7月に市民と意見交換会等を開催し、市民ニーズを踏まえ、新たな公共交通の運行形態を決定していく予定です。

Q　市内から隣接地へ移動できない軽度の障害者や、今まで外出できなかった高齢者等が、乗りかえを活用するのは、果たして利便性の良い交通といえるでしょうか。

A　市長　弱者に対する配慮と地域づくりの位置づけとの両面から、山武市にふさわしい公共交通網を選択して行きたいと思います。

Q　茨城県の筑西市では11万人口でデマンドタクシーを運行しています。

当初、市役所を中心に乗り継ぎを考えていたが実証実験運行の段階で、直接でも取り組める事が分かり、施行されています。

そこで、国の21年度地域活性化経済危機対策臨時交付金等を活用し、公共交通試験運行開始の前倒しの取り組みについて。

A　市長　国の事業認定を受けた補助事業の計画に沿って行います。

個人質問

川原　春夫　議員

●地上デジタル放送化について

Q　事例を紹介させていただきます。森地区内、デジサポ千葉測定の結果全く電波が届かないことが判明。椎崎地区内、数メートルも離れていない2軒のお宅で、一軒は受信可能、もう一軒では全く電波が届かない。木原地区内、自主共聴アンテナですがデジサポ千葉ではこの共聴アンテナは自分たちの守備範囲ではないとの事、共聴アンテナを移動するようなことになったら、数百万円という多額の金がかかります。他にもNAAや東京電力の共聴アンテナに関する問題等、様々な課題がありますが、市に設けられた窓口の対応と今後の対策をお聞かせ下さい。

A　総務部長　総務部の企画政策課に窓口を設けて対応していますが、実際は千葉県のテレビ受信支援センターを紹介する場面が多い。今後は地形的な難視地域について個々の状況の把握に努めていかなければならない。

Q　地域活性化経済危機対策臨時交付金の活用も踏まえての今後の対策について。

A　市長　近々行われる国の難視聴地区についての調査を待ちたい。その結果において、全ての皆様が地上デジタル放送を見られるように努力をしてまいりますが、今回の交付金での対応は考えていません。今後の対策として、まず山武地区の中で映らない地域の現状の把握、その後、適切な方針を定めていきたい。

●環境問題について

Q　クールアース・デーと緑のカーテン事業の本年の取り組みは昨年よりも一歩進んだ計画なのでしょうか。

A　経済環境部長　7月7日の七夕の日には、電気を消して、天の川を見ながら地球環境の大切さを感じていただくよう、広報、ホームページ等により幅広く呼びかけます。又、野球場、テニスコート等でのナイター照明の自粛を教育委員会に申し入れました。グリーンカーテンの設置については、間もなく緑のカーテンが目にとまるようになりますし、今年は賛同・希望される小学校、幼稚園、保育所に試験栽培のための苗を配布したところです。今後は実績を踏まえ、他の施設や、市民の皆様方にも普及を促すような施策を展開したい。

グリーンカーテン

●教育行政の取り組みについて

Q　新経済対策に含まれている「スクール・ニューディール構想」について、我が市の取り組みをお聞かせ下さい。一、小中学校での太陽光発電パネル設置の取り組み。二、小中学校校庭の芝生化への取り組み。三、小中学校の耐震化の進捗状況と前倒しでの取り組み。最後に、小中学校のICT※化に対する取り組みについてお尋ねいたします。

（※ICT…情報通信技術）

A　教育部長　まず耐震化については、市の重要課題の一つとして、早期解消に向け取り組んでいます。昨年度に引き続き成東東中学校校舎改築。又、日向小学校校舎の耐震補強工事は夏休み中に主